

次代を担う「青年」が希望と夢を抱いて、働き結婚できるように福永は奔走しています！



今、若者にとって深刻な課題は、派遣社員・アルバイト・パートといった「非正規社員」の増加。低賃金ゆえ結婚もできないという「格差社会」を生み出している。

福永県議は、「正規社員化の推進」を18年3月の県議会予算委員会で最初に取り上げた。雇用の場の確保のため川越東部工業団地の拡張も先頭に立って推進している。派遣社員・アルバイト・パートの社会保険加入を雇用主である企業に義務づけるよう国へも要望している。

ヤングキャリアセンター 大宮の開設促進

どんな仕事に向いているかわからない若者へキャリアカウンセラーがアドバイス。要予約。講座も受講でき、就職先もあっせん＝福永HPにリンクされている。JR大宮駅西口徒歩5分。
☎048(650)0000

「埼玉スタジアム2002」 の建設

サッカー専用6万人収容を本会議で訴えたのは福永ひとりだけ。当時はマスコミが大反対し、県議も県庁幹部も反対の大合唱だったが、福永がひっくり返した。祝レズズ優勝。観客動員No1

「格差社会」の進行に歯止！

「格差社会」の進行に歯止めをかけるよう正社員登用拡大などを県議94人の中で初めて取り上げる。

希望と夢を持って、いきいきと生活できるように頑張ります。

- 携帯電話のポータビリティ推進
- インターネット利用料金の大膽な値下げ推進
- 福永も署名運動
- 水上公園のにぎわい創出の推進。フットサル場も整備
- アトレ内のパスポートセンターの日曜発給の推進
- 川越警察署における免許証即日交付の推進
- 「法テラス」埼玉川越支部の開設
- ストーカー防止条例の制定